

令和3年度
台東区地域包括支援センター事業計画書

	センター名	ページ
1	あさくさ地域包括支援センター	1
2	やなか地域包括支援センター	3
3	みのわ地域包括支援センター	5
4	くらまえ地域包括支援センター	7
5	まつがや地域包括支援センター	9
6	たいとう地域包括支援センター	11
7	ほうらい地域包括支援センター	13

令和 3 年度 [あさくさ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	民生委員との関係づくりや協力体制の強化
②	総合相談支援業務	防災ニーズの高まりがある中で、活用できる体制や資源の把握が出来ていない
③	認知症総合支援事業	認知症高齢者に関する相談が増えている

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	民生委員との連携強化	計画	令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により開催できなかった民生委員との連絡会を、感染防止対策を徹底し開催することで、民生委員がより相談しやすい体制を作っていく。
		報告	
②	災害時に活用できる地域連携の構築	計画	令和2年度に新型コロナウイルス感染症の影響により達成できなかったため、各町会等の災害時に活用できる資源を把握し、関係者との連携が図れるよう、連絡会等で情報共有に努める。
		報告	
③	認知症に関する普及啓発活動の実施	計画	認知症カフェや認知症サポーター養成講座、町会等での認知症講座を開催することで住民の認知症に対する理解を深めていく。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和2年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○			○	○		9	○	○	1	常	40	○				○	○		10	○	○	
2	常	40	○		○	○	○		8	○	○	2	常	40	○			○	○	○		9	○	○	
3	常	40	○			○	○		5	○	○	3	常	40	○			○	○		6	○	○		
4	常	40		○		○			3	○	○	4	常	40		○		○			4	○	○		
5	常	40	○			○	○	○	13	○	○	5	常	40	○			○	○	○	14	○	○		
6	常	40		○	○				4	○	○	6	常	40		○	○				5	○	○		
7	常	40	○						1	○	○	7	常	40	○						2	○	○		
8	非	28				○		○	2		○	8	非	28				○		○	3		○		
9												9													
10												10													

その他の資格・・・NO. 8 柔道整復師

その他の資格・・・NO. 8 柔道整復師

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 7,662人 (令和2年1月1日時点) あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	計画 三密を避けた会場の設定を行い、課題となっているケースについて、各専門職や地域住民等と支援方法を検討する。	2回	←①→			←②→								
主催	報告													
見守りネットワーク地区連絡会	計画 新型コロナウイルス感染防止対策を行い、関係機関との顔の見える関係を維持しながら、情報誌作成又は協力機関等を限定し少人数で開催する。事例検討により、地域課題抽出の他、ネットワークの連携強化を図っていく。	2回参加40人(延べ)	←①→			←②→								
主催	報告													
街づくり懇談会	計画 街づくりに繋がることを意識し、住民及び関係機関から地域の実情を知り、共通の課題等についての意見発表会を開催。新型コロナウイルス感染防止対策を行い、参加者を限定するか、状況によっては、集合開催ではなく情報誌を作成し配布する。	1回参加20人程度	←①→											
主催	報告													
広報誌「笑顔の浅草」の発行	計画 各関係機関や高齢者の来所される場、民生委員等に配付し、情報提供や地域包括支援センターの周知に努める。	2回1,000部	←①→									←②→		
主催	報告													

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 9カ所 介護支援専門員数 33人 (令和3年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
ケアマネジャーの集い	計画 会場の定員1/2の人数に参加者を制限するなどして新型コロナウイルス感染防止対策を行い、事例検討会・情報交換会・勉強会等を実施し、地域のケアマネジャーの資質向上を図る。	4回	←①→			←②→			←③→			←④→		
主催・共催	報告													
	計画													
	報告													

<認知症地域支援推進事業> あさくさ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ(喫茶YOU)	計画 【台東病院・みのわ地域包括支援センター】認知症に関する知識や様々な情報提供・啓発を目的とし台東病院、みのわ地域包括支援センターと連携して開催する。なお、感染防止対策として参加者は会場定員の半数とする。	6回60人(延べ)	←①→		←②→		←③→		←④→		←⑤→		←⑥→	
共催	報告		←周知→											
認知症サポーター養成講座	計画 町会、地域のマンションや企業等に講座開催の働きかけを行い、三密を避ける為に、会場定員の半数になるように人数設定を行い開催する。開催に至らない場合も、認知症に関する情報発信、啓発活動を行っていく。	2回20人(延べ)	←①→						←②→					
主催・共催	報告													
認知症初期集中支援推進事業	計画 事業の構成メンバーとして、対象者の把握から初期集中支援の実施を通し、適切な支援につなげる。	1ケース以上	←①→											
実施	報告													
介護者サロン(ほのほの集い)	計画 在宅介護をされている方や介護経験者が交流を持ち、体験や思いを分かち合い、相互の支え合いを支援するためのサロンを新型コロナウイルス感染防止対策を行った上で開催する。	6回48人(延べ)	←①→	←②→	←③→	←④→	←⑤→	←⑥→						
主催	報告													

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													

令和 3 年度 [やなか] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	地域包括支援センターの周知不足によるケース介入の遅れや、虐待、孤独死などの発生。
②	権利擁護業務	特殊詐欺や消費者被害が多発している。
③	総合相談支援業務	土砂災害（特別）警戒区域【谷中・池之端】、木造建物の密集した住宅地【谷中】があり、災害時の危険度が高い地域である。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域包括支援センターの役割について普及啓発の強化	計画	広報誌、ホームページ、地域行事への参加により地域包括支援センターの役割について啓発を行う。民生委員、町会、医療機関等、地域の様々な資源と連携し実態把握や見守り活動を行い、感染対策を徹底しながら継続的に関わることで必要な支援に繋げる。
		報告	
②	特殊詐欺や消費者被害の未然防止と拡大防止	計画	警察、金融機関、消費者相談窓口と連携し、民生委員、町会、ケアマネジャー、医療機関等、地域の様々な組織へ、最新の手法や自動通話録音機の活用など被害の未然防止と拡大防止のための注意喚起を定期的に行っていく。
		報告	
③	災害、火災への対応力の強化と減災	計画	消防署、危機・災害対策課、社協、民生委員、町会、地域の様々な組織と連携し、地域の災害特性を把握する。特に独居高齢者については、消防署と協力して防火防災診断や家具転倒防止器具の設置等を積極的に働きかけていく。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和2年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士			
1	常	40			○	○	○		14	○	○	
2	常	40				○	○		3	○	○	
3	常	40	○				○		6	○	○	
4	常	40		○	○		○	○	5	○	○	
5	非	32				○	○		4	○	○	
6												
7												
8												
9												
10												

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 4,213人 (令和2年1月1日時点) やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
地域ケア個別会議	新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら、個別ケースの課題を地域の関係者と共有することで、地域課題の抽出に繋げていく。	2回					↔	①			↔	②				
主催	報告									①				②		
見守りネットワーク地区連絡会	見守りネットワークの関係協力機関との情報共有や事例検討による地域課題の抽出を行う。新型コロナウイルスの感染防止対策のため状況に応じて書面開催等工夫をしながら実施する。	2回		↔	①						↔	②				
主催	報告					↔	①					↔	②			
広報誌の発行・ホームページの活用	熱中症やインフルエンザ、詐欺等に関する情報を毎月のテーマに沿って広報誌を作成し、回覧板や医療機関、薬局、民生委員等へ配布する。また、法人のホームページを活用した情報発信も併せて行う。	12回	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		
主催	報告															
出前講座	新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら、地域包括支援センターの役割や詐欺、消費者被害の啓発、介護予防に関する相談などの講座等について、町会単位の集まりや民生委員等からの要請に積極的に対応していく。	3回	↔													
主催	報告															

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 3カ所 介護支援専門員数 7人 (令和3年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら、講義と事例検討会を開催する。事例検討会は、居宅介護支援事務所(隣接区を含む)、予防プランを作成した事業所の専門職をオブザーバーとして参加させる。	4回			①							②				
主催・共催	報告					↔	③				↔	④				
	計画															
	報告															

<認知症地域支援推進事業> やなか 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ(カフェやなか)	【土田病院】谷中区民館や他の屋内外の会場を使用し、新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら、本人や家族、地域住民が安心して参加出来るように工夫して実施していく。なお、開催にあたっては、引き続き土田病院と連携を図る。	6回 60人(延べ)	①		②		③		④		⑤		⑥			
共催	報告															
認知症サポーター養成講座	新型コロナウイルスの感染防止対策を行いながら、地域住民や各種機関・企業等へ認知症サポーター養成講座をはじめとする認知症に関する講座開催の働きかけを行っていく。また、若年性認知症についての普及啓発も併せて行っていく。	2回以上	↔													
主催・共催	報告															
認知症初期集中支援推進事業	対象者の把握から初期集中支援の実施を通して、各機関と連携しながらスムーズで適切な支援に繋げる。	1ケース以上	↔													
実施	報告							①								
認知症高齢者の実態把握・早期対応	セキュリティが厳しく、高齢者の生活実態の把握が困難な高層マンション等に対して、管理人や管理会社、管理組合へ働きかけを行い実態把握・早期対応を行う。	適宜	↔													
主催	報告															

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	報告															
	報告															

令和 3 年度 [みのわ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 台東区社会福祉事業団 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	認知症や末期がんの診断を受けた40、50代の方の親族や医療機関からの相談が増えている。そのため若い世代に対する地域包括支援センターや介護保険サービス等のさらなる普及啓発が課題である。
② 認知症総合支援事業	新型コロナウイルス感染症の影響により、家族や友人とのつながりが減っている。今後、さらに認知症の相談が増えてくる可能性が高い。
③ 権利擁護業務	虐待の相談が増えており、高齢者を支援するサービス事業所やケアマネジャーからの報告の遅れなど高齢者虐待の発見・対応に課題がある。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域住民が気軽に相談できるようになる。	計画	①広報誌の配布先を拡大し、ホームページによる最新情報の発信を行う。②若い世代への普及啓発と併せて引き続き80歳以上の独居高齢者の実態把握、熱中症予防活動を行う。
		報告	
②	認知症高齢者を把握し、必要な支援に繋げる。	計画	認知症が疑われ支援が必要な方をリストアップし、複数の担当者による切れ目のない支援を行う。
		報告	
③	虐待が疑われる高齢者の早期発見、早期対応を行う。	計画	サービス事業者向けに書面の配布等により虐待対応の普及啓発を行い、地域包括支援センターへの速やかな報告や相談ができる体制を整える。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和2年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○		○	○		○	10	○	○	1	常		○		○	○		○	11	○	○		
2	常	40	○					○	15	○	○	2	常		○					○	16	○	○		
3	常	40						○	3	○	○	3	常						○	○	4	○	○		
4	常	40		○				○	5	○	○	4	常			○			○		6	○	○		
5	常	40	○						5	○	○	5	常		○						6	○	○		
6	常	40	○						1	○	○	6	常		○						2	○	○		
7	非	32	○						3	○	○	7	非		○						4	○	○		
8	非	24		○					12	○	○	8	非			○					13	○	○		
9	非	21						○	4		○	9													
10												10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 6,683人 (令和2年1月1日時点) みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)														
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
地域ケア個別会議	計画 三密を避けた会場設定や参加者の体調確認など新型コロナウイルス感染防止対策を行い、高齢者が地域で安心して生活できるように、他機関とのネットワーク形成を行いながら支援方法を検討する。	2ケース	① 計画実施			② 計画実施						① 評価			②		
主催	報告																
見守りネットワーク地区連絡会	計画 ①三密を避けた会場設定や参加者の体調確認など新型コロナウイルス感染防止対策を行い、地域ごとに小規模で実施する。新型コロナウイルスの感染状況によって、書面開催も検討する。 ②見守りネットワークだよりの発行	2回	① 計画実施			② 計画実施											
主催	報告																
自立支援・介護予防に向けた地域ケア個別会議	計画 三密を避けた会場設定や参加者の体調確認など新型コロナウイルス感染防止対策を行い、高齢者自身が会議に参加し、専門職から助言をもらうことで、介護予防に取り組めるよう実施する。	2ケース		①	②												
参加	報告																
広報誌の配布・ホームページによる周知活動	計画 新型コロナウイルス感染防止対策のため、冬期の事業を前倒しに行う。それに伴い広報誌の配布時期を早める。配布先はさらに拡大する。また、ホームページにて、詐欺予防など最新情報を発信する。	広報誌3回 HP 随時更新	① 作成配布			② 作成配布			③ 作成配布			ホームページ随時更新					
主催	報告																

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 9カ所 介護支援専門員数 26人 (令和3年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
ケアマネジャーの集い	計画 三密を避けた会場設定や参加者の体調確認など新型コロナウイルス感染防止対策を行い、少人数での事例検討会を実施する。また他包括とも連携し、地域のケアマネジャー支援に取り組む。	4回	①			②			③			④				
主催・共催	報告															
	計画															
	報告															

<認知症地域支援推進事業> みのわ 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
認知症カフェ(喫茶you)	計画 【台東病院・あさくさ地域包括支援センター】認知症に関する知識や様々な情報提供・啓発を目的とし、台東病院・あさくさ地域包括支援センターと連携して開催する。なお、感染防止対策として、参加者は会場定員の半数とする。	6回 60人	①		②		③		④		⑤		⑥			
共催	報告															
認知症カフェ(みのわかフェ)	計画 三密を避けた会場設定や参加者の体調確認など新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、認知症の方や家族介護者が気軽に相談できる場を提供する。また、認知症介護指導者や地域のグループホームと連携を図る。	2回	①			②										
主催・共催	報告															
認知症サポーター養成講座	計画 町会や各事業所等へ講座の案内を行い、三密を避けた会場設定や参加者の体調確認など新型コロナウイルス感染防止対策を行いながら、少人数で講座を開催する。	4回	①		②		③		④							
主催・共催	報告															
認知症の普及啓発活動	計画 地域へ働きかけを行ない、少人数で出前講座を開催する。開催時は三密を避けた会場設定や参加者の体調確認など新型コロナウイルス感染防止対策を行う。併せて広報誌による啓発活動を行う。	3回	①		②		③									
主催・共催	報告															
認知症初期集中支援事業	計画 認知症の疑いのある方に対して訪問支援による早期対応を行い、適切な医療や介護へ繋げる。	1ケース	導入より終結まで、約半年かけ実施													
実施	報告															

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過(月)													
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
	報告															
	報告															

令和 3 年度 [くらまえ] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 [社会福祉法人 東京援護協会]

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	高齢者の実態把握と地域包括支援センターの周知
②	認知症総合支援事業	認知症の方や家族介護者に対する支援
③	包括的・継続的 ケアマネジメント支援 業務	見守りネットワークの連携強化

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	計画的な実態把握と周知活動の強化	計画	見守り名簿の活用や民生委員との連携から、支援につながっていない対象者の発見、実態把握を速やかに行う。また、広報誌や行政配布物を使用して、センターの周知に努める。
		報告	
②	支援体制の強化と認知症に関する知識の普及啓発	計画	認知症地域支援推進員を中心に、感染状況を鑑みながら認知症サポーター養成講座や出前講座の実施、関係機関と連携して認知症カフェを充実させ、家族介護者に対する支援強化に繋げる。
		報告	
③	見守りネットワークの連携強化	計画	昨年度の連絡会は書面での開催。今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を講じて連絡会を開催予定。また、日頃から情報交換を行うなど顔の見える関係を構築する。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和2年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和3年度 No.	常勤(常) 非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40	○			○	○			11	○	○	1	常	40	○				○	○			12	○	○
2	常	40	○			○	○	○		9	○	○	2	常	40	○				○	○	○		10	○	○
3	常	40	○					○		5	○	○	3	常	40	○					○			6	○	○
4	常	40	○					○		4	○	○	4	常	40	○					○			5	○	○
5	常	40			○					5	○	○	5	常	40				○		○			6	○	○
6	非	40						○		4		○	6	非	40						○			5		○
7													7													
8													8													
9													9													
10													10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

令和 3 年度 [まつがや] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 東京援護協会 】

◇今年度の重点課題

①	総合相談支援業務	窓口受付からその後の介護保険制度の利用が円滑に出来るようにする。
②	権利擁護業務	認知症の一人暮らしの方が多くなってきている。
③	総合事業の推進に関する事業	新しい生活様式の中で運動を行う機会や集まる機会が減り、運動機能や認知機能の低下を感じる高齢者が増えている。

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	わかりやすい窓口案内を行う	計画	サービス未利用の介護認定者が必要時円滑に相談が出来るような仕組みをつくる。
		報告	
②	認知症等で判断能力が低下した人の安全な暮らしの確保	計画	入谷老人福祉館等の高齢者が通う場や出前講座で成年後見制度の活用方法、消費者被害防止等の啓発を行い、権利擁護を推進する。
		報告	
③	高齢者へ介護予防の働きかけを行って元気な高齢者を増やす。	計画	窓口や機関誌、出前講座を通じて「ころばぬ先の健康体操DVD」等を活用し、新しい生活様式における介護予防に関する情報を発信する。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和2年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに〇)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに〇)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士			
1	常	40	○		○	○	○		8	○	○	1	常	40	○		○	○	○		9	○	○		
2	常	40	○	○		○			12	○	○	2	常	40	○	○		○			13	○	○		
3	常	40		○				○	14	○	○	3	常	40		○	○			○	15	○	○		
4	常	40	○			○	○		5	○	○	4	常	40	○			○	○		6	○	○		
5	常	0	○			○	○		14	○	○	5	常	40				○	○	○	12	○	○		
6	常	40				○	○	○	11	○	○	6	常	40			○	○	○	○	1	○	○		
7	非	32				○	○		8	○	○	7	非	32				○	○		9	○	○		
8	非	32	○						0	○	○	8	非	32	○			○			1	○	○		
9												9													
10												10													

その他の資格・・・3助産師 6幼稚園教諭 ※5育休中

その他の資格・・・3助産師 5幼稚園教諭 6管理栄養士

令和 3 年度 [たいとう] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 聖風会 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	相談しやすい窓口としての地域包括支援センターの周知
② 生活支援体制整備事業	高齢者が集まっている地域内の拠点との関係づくり
③ 地域ケア会議推進事業	ネットスーパー等新たな買い物方法の活用の検証

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	地域包括支援センターの周知	計画	医療機関・薬局等への広報誌の配布、三密を避ける環境の上で地域での出張相談に取り組む
		報告	
②	身近な高齢者の集まれる場所との関係構築	計画	喫茶店など的高齢者が集まっているお店や自主グループ等を訪れ、地域における相互の見守り活動についての認識強化を行う。また地域包括支援センターからの情報発信（広報誌などの配布）の場となってもらえるよう協力の呼びかけを行う。
		報告	
③	高齢者が活用できる買い物支援方法の検証	計画	民間事業者やボランティアなどと協力・連携し、高齢者がネットスーパーなど新たな買い物方法を利用し、生活の幅が広がるか等を検証する。
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和2年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	令和3年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2	
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士							その他	社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士				介護福祉士
1	常	40		○		○				14	○	○	1	常	40	○				○				13	○	○
2	常	40	○			○				12	○	○	2	常	40	○			○	○	○			10	○	○
3	常	40	○		○		○	○		9	○	○	3	常	40	○			○	○	○			7	○	○
4	常	40	○			○	○	○		6	○	○	4	常	40	○			○	○				5	○	○
5	常	40		○		○				13	○	○	5	常	40		○		○					2	○	○
6	常	40	○			○	○			4	○	○	6	常	40				○	○	○			4	○	○
7	常	40		○		○				1	○	○	7													
8	常	40				○	○	○		3	○	○	8													
9													9													
10													10													

その他の資格・・・

その他の資格・・・

令和 3 年度 [ほうらい] 地域包括支援センター事業計画書
 法人名 【 社会福祉法人 清峰会 】

◇今年度の重点課題

① 総合相談支援業務	支援を必要とする方を早期に発見し支援につなげるため、民生委員等との連携を強化する必要がある。
② 総合事業の推進に関する事業	昨年度新型コロナウイルス感染症の影響により達成できなかったほうらい地域にない通いの場の立ち上げを進めていく必要がある。
③	

◇重点課題に対する目標と具体的な取組

課題番号	目 標	数値	目標に向けた具体的な取組
①	民生委員等との連携強化	計画	高齢者の実態把握のための訪問を民生委員や不動産屋の方などと一緒にいき、連携体制を強化する。
		報告	
②	自主グループを立ち上げる	計画	セラバンド教室の自主グループ立ち上げについて、新型コロナウイルス感染予防に注意しながら関係者間の連携を行い、通い場の立ち上げを進めていく。
		報告	
③		計画	
		報告	

◇地域包括支援センター人員体制状況

※1 包括的支援業務とは総合相談・権利擁護・包括的継続的マネジメント支援業務を指す。
 ※2 介護予防ケアマネジメントとは介護予防支援・介護予防ケアマネジメント業務を指す。

令和2年度 No.	常勤(常)・非常勤(非)	週の勤務時間(残業除く)	資格(持っているもの全てに○)							包括実務経験年数(年)	包括的支援業務※1	介護予防ケアマネジメント※2
			社会福祉士	保健師	看護師	主任介護支援専門員	介護支援専門員	精神保健福祉士	介護福祉士			
1	常	40	○		○					8	○	○
2	常	40	○		○		○	○		7	○	○
3	常	40			○					7	○	○
4	常	40	○					○		2	○	○
5	常	40		○	○		○			3	○	○
6												
7												
8												
9												
10												

その他の資格・・・

その他の資格・・・

◇年間計画表 エリア内の高齢者人口： 6,204人 (令和2年1月1日時点) ほうらい 地域包括支援センター

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
地域ケア個別会議	地域独自の生活課題や、不足している社会資源の把握、開発につなげる。開催方法については新型コロナウイルス感染防止対策を徹底する。	3回参加者各10人	←①準備・開催		←②準備・開催		←③準備・開催							
主催	報告		モニタリング①		モニタリング②		モニタリング③							
見守りネットワーク地区連絡会	コロナ禍における見守りについて関係機関と意見交換や事例検討を行う。開催方法は新型コロナウイルス感染状況をみながら書面開催などの適切な方法を選択していく。	2回参加者約40人延べ	←①準備・開催		←②準備・開催									
主催	報告		報告①		報告②									
セラバンド教室(自主グループ)	セラバンドを用いた運動を通して自主的に集まれる場になるよう働きかける。新型コロナウイルス感染防止対策を行い、開催場所、参加人数、開催方法を工夫する。	12回180人	←①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫											
共催	報告													
	計画													
	報告													

<認知症地域支援推進事業>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
認知症カフェ(あさがおカフェ)	【浅草病院】会場定員の半分以下の人数で、パーティションの設置やアルコール消毒など、飛沫感染、接触感染対策を講じた上で、認知症の本人、家族と一緒に安心して過ごせる場づくりに、浅草病院と共催で取り組む。	6回	←①		←②		←③		←④		←⑤		←⑥	
共催	報告													
認知症サポーター養成講座	参加者同士の距離を確保し、換気の良い会場を使用するなど、感染対策を行った上で講座を実施する。出前講座の実施について、広報誌等で周知を行う。	2回			←①						←②			
主催・共催	報告													
認知症初期集中支援推進事業	初期集中支援チームのチーム員として、対象者の把握から訪問支援を実施する。認知症のケースを推進員と他の職員で情報共有し、適切なケース選定を行う。	1ケース以上	←①											
実施	報告													
若年性認知症の支援体制の検討	昨年度実施したケアマネジャーへの調査(アンケートとインタビュー)の結果を踏まえて、他の認知症地域支援推進員と連携して、若年性認知症の方やその家族への支援体制を検討する。	12回	←①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫											
共催	報告													

<ケアマネジャー支援> エリア内の居宅介護支援事業所数： 4カ所 介護支援専門員数 9人 (令和3年1月1日時点)

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)												
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
ケアマネジャーの集い	地域のケアマネジャーに必要な情報提供の場として開催(2回)包括合同のケアマネジャーの集いの開催(2回)※新型コロナウイルス感染防止対策でウェブ開催など臨機応変に活用。	4回	準備	←①		←③		準備		←②		←④			
主催・共催	報告		①② ほうらい		③④ 包括合同										
地域連携を勧める会	山谷地域で活動しているNPO団体や医療機関と連携しながら研修会を開催し、ネットワークを構築する。	3回	←①		←②		←③								
共催	報告		① 企画会議		② 企画会議		③ 企画会議								

<計画外の取組>

項目	内容	人数・数量など	取組活動の経過 (月)											
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	報告													
	報告													